

## 第13期 日韓理工系学部予備教育コース

村上京子

第13期日韓理工系学部予備教育コースは、平成24年10月9日から25年3月1日までの6か月（実質18週）間、7名の学生を対象に開講された。このコースは、工学部入学後の勉学や生活に支障のないよう、日本語運用および専門基礎能力を養成することを目的に行われる。日本語に関しては、日常生活に必要な会話練習のほか、科学読み物を読む、レポートを書く、講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習を行う。また、教養科目「留学生と日本—異文化をとおしての日本理解—」や「日本事情」の授業を通じて日本文化に対する理解を深めることも目標とする。専門基礎教育に関しては、工学部スタッフを中心に物理・化学・数学の授業が行われた。

### 日程

10月9日(火) 開講式 (国際開発 GSID 8F)  
留学生センター・オリエンテーション  
10月10日(水) 日本語オリエンテーション  
日本語診断試験  
10月11日(木) 授業開始  
10月29日(月) 健康診断  
10月31日(水) バス旅行 (奈良)  
12月22日(土)～1月11日(金) 冬休み期間  
2月1日(金) 工学部入試のため休講  
2月27日(水) レポート発表会  
2月28日(木) 修了試験  
3月1日(金) 閉講式

### 科目別時間および担当者・内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	14	420	留学生センター教員・非常勤講師7名	会話練習・聴解・文法・読解・作文
専門科目	3	108	工学部教員・非常勤講師3名	物理・化学・数学
日本事情	1	36	留学生センター教員・非常勤講師1名	ビデオ・新聞等を使った日本事情
教養科目	1	30	留学生センター教員	日本人学生との合同クラス

### 時間割

	1限	2限	3限	4限
	8:45-10:15	10:30-12:00	13:00-14:30	14:45-16:15
月	作文	教養科目 (留学生と日本)	専門科目	聴解
担当	村上			李 賢珠
火	会話	聴解	専門科目	専門科目
担当	滝	李 賢珠		
水	会話	OL 科学技術 語彙	聴解	応用会話
担当	入江	村上	滝	二口
木	文法	読解	漢字・語彙	
担当	李	宮島	二口	
金	日本事情	会話	OL 作文	OL 聴解
担当	入江	田中	村上	石崎

OL：オンライン・コースの略

### 基本テキスト

会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」  
名古屋大学出版会 CD版  
聴解：「現代日本語コース中級 Web 聴解Ⅰ，Ⅱ」  
CD. Web版  
読解：「大学・大学院 留学生の日本語 読解編」  
アルク  
作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」  
スリーエーネットワーク  
漢字：「KANJI IN CONTEXT 中・上級学習者のための漢字と語彙」The Japan Times

本コース学生受け入れに先立ち、工学部・留学生センター・国際課(事務)の3者によるワーキンググループを立ち上げ、協議を行った。時間割の調整、開講期間などを取り決め、緊密に連絡を取りながらコースを進めていくことを確認した。

来日直後、恒例の診断テストを行った結果、例年に比べ得点の低い学習者が多く、特に漢字の得点が著しく低く、全体としてこれまでの平均より10%以上低い傾向がみられた。カリキュラムを進める中で個別に指導しながら、例年通りの目標設定でコース運営を行った。修了試験でも十分なレベルに到達していない学習者が2、3名みられたが、全体的にまじめで、学部入学後、徐々に伸びていくことが予想されるため、補講など特別な措置はとらず、進学後の様子を見ていくこ

ととした。

例年と同様、各自が選んだテーマで資料を収集し、レポートを作成した。レポート作成には全員積極的に取り組み、2月27日に工学部教員も招いて、その発表会を実施した。レポートのテーマは、「ジェットエンジンの原理と構造」「未来と瞬間移動」「組み込みシステムの理解」「交通信号システム」「電気調理器」「カーボン:古くて新しい材料」「羽根のない扇風機」であった。発表後、工学部教員や日本語担当教員、先輩学生などから多くの質問・意見が出され、各自真剣に答えていた。この経験は学習者にとって今後の勉学に取り組む上での自信にもつながり、貴重な体験となったと考えられる。